

70 信濃奇勝録版木

しなのきしょうろくはんぎ



指 定 市有形文化財 昭和52年 3 月31日
所在地 白 田
所有者 井出 克征

信濃奇勝録は木版本で本文5巻・拾遺1巻からなり、著者は白田の神官井出道貞である。この本は、信濃国全域にわたって10数年の年月足を運び実地の見聞を記した地誌である。天保5年（1834）2月に成稿したが、刊行にいたらなかった。

道貞は天保13年（1842）正月86歳をもって没している。

その後、孫の通とおるがこのことを引き継ぎ明治20年（1887）4月木版本として刊行した。本の内容は、信濃の国の名勝・名木・奇獣・奇人・古記・奇談等を広く蒐あつめており、今日まで数回の再版・復刻を重ねてきている名著である。

明治20年の出版の時、東京の彫工大沢鉞かん三郎によって作られた版木は、縦22.7cm、横44cm、厚さ2.5cmの桜材を用い、表裏両面に文と画を彫ってある。総数は97枚である。

佐久郡の部には24項目と拾遺4項目がある。